



## 平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ピーエイ

コード番号 4766 URL <http://www.pa-co-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加藤博敏

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 阿部良一

TEL 03-5803-6318

四半期報告書提出予定日 平成28年8月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	1,118	13.1	53	38.8	88	42.3	59	28.0
27年12月期第2四半期	988	13.8	38	13.0	62	18.0	46	37.4

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 48百万円 (4.6%) 27年12月期第2四半期 46百万円 (51.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	5.55	—
27年12月期第2四半期	4.33	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第2四半期	2,023	1,070	52.3	98.43
27年12月期	1,984	1,054	52.6	97.09

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 1,058百万円 27年12月期 1,043百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,500	21.3	250	161.4	250	88.0	150	33.3
								13.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期2Q	11,229,800 株	27年12月期	11,229,800 株
28年12月期2Q	476,916 株	27年12月期	476,804 株
28年12月期2Q	10,752,884 株	27年12月期2Q	10,752,996 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 211「当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな回復基調で推移いたしました。円高の進行や株式市場の不安定な動きを背景に、国内の景気は停滞感が長期化し、先行きに対して不透明な状況で推移いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高1,118百万円（前年同四半期比13.1%増）、更なる営業体制強化のために、積極的な人員採用及び広告宣伝投資の実施等により、営業利益53百万円（前年同四半期比38.8%増）、助成金収入の増加等により、経常利益88百万円（前年同四半期比42.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益59百万円（前年同四半期比28.0%増）となりました。

情報サービス事業

情報サービス事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は980百万円（前年同四半期比11.2%増）となりました。

情報サービス事業は、東日本エリアの東北地域、関東地域、信越地域、北陸地域において無料求人情報誌「ジョブポスト」、新聞折込求人紙とフリーペーパーの「おしごとハロー」を編集発行しております。無料求人情報誌「ジョブポスト」及びスマートフォン向けインターネットサイト「ジョブポストWEB」の既存エリアにおいては、求人広告市場の拡大に伴う価格競争等により苦戦を強いられました。

そうした中において、業務拡大のため平成28年4月に栃木県（宇都宮市）に新規事業所を開設し、営業力及びサービスの充実・多様化を図り、競争力強化と収益基盤の拡大を図って参りました。

人材派遣事業

人材派遣事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は115百万円（前年同四半期比7.1%増）となりました。

人材派遣事業は、雇用関連の各種指標の持続的な改善により、人手不足は深刻化している一方で、企業の人材採用意欲は依然旺盛であることから、派遣人材サービスに対するニーズは引き続き堅調に推移いたしました。

このような事業環境の下、幅広い層を対象とした求人案件の開拓、求職者の確保に努め、競争力強化と収益基盤の拡大を図ることに注力いたしました。

その他事業

平成28年4月に株式会社ピーエイケアを連結子会社化したことに伴い、同社の事業を報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」に区分しております。事業内容は主として保育関連事業であります。当第2四半期連結累計期間の売上高は22百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,023百万円となり、前連結会計年度末と比較して39百万円の増加となりました。これは主に、有価証券100百万円の減少の反面、建物50百万円及び無形固定資産ののれん28百万円の増加等によるものであります。

負債合計は953百万円となり、前連結会計年度末と比較して23百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金16百万円の増加等によるものであります。

純資産合計は1,070百万円となり、前連結会計年度末と比較して16百万円の増加となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益59百万円の計上による増加及び配当金の支払32百万円による減少等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、無料求人情報誌「ジョブポスト」及びスマートフォン向けインターネットサイト「ジョブポストWEB」の既存エリアにおいては、求人広告市場の拡大に伴う価格競争等により苦戦を強いられましたが、第3及び第4四半期連結会計期間においては、営業力及びサービスの充実・多様化を図り、競争力強化をし、収益基盤の拡大を図って参ります。

平成28年8月9日に開示いたしましたとおり、当第2四半期連結累計期間の業績予想を修正いたしました。現時点では通期の業績予想に変更はありません。

なお、今後の経営環境の変化により、業績予想の修正の必要性が生じた場合、適切に開示してまいります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結会計期間において、新たに株式を取得したことに伴い、株式会社ピーエイケアを連結子会社、キャピタルハウス株式会社を持分法適用会社といたしました。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,374,682	1,353,715
受取手形及び売掛金	180,678	202,524
有価証券	100,010	—
原材料及び貯蔵品	350	328
繰延税金資産	39,715	37,696
その他	30,955	56,627
貸倒引当金	△3,460	△3,320
流動資産合計	1,722,932	1,647,571
固定資産		
有形固定資産	63,901	115,751
無形固定資産		
のれん	17,673	45,726
その他	35,334	46,291
無形固定資産合計	53,007	92,017
投資その他の資産	142,182	166,356
固定資産合計	259,091	374,126
繰延資産		
社債発行費	2,337	2,164
繰延資産合計	2,337	2,164
資産合計	1,984,360	2,023,862
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	80,839	96,967
短期借入金	472,000	472,000
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	2,808	4,824
未払法人税等	14,416	18,992
その他	142,655	136,453
流動負債合計	742,720	759,237
固定負債		
社債	170,000	155,000
長期借入金	3,504	8,404
繰延税金負債	2,605	13,934
資産除去債務	11,442	17,042
固定負債合計	187,551	194,380
負債合計	930,272	953,617
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	514,068	514,068
資本剰余金	496,760	496,760
利益剰余金	99,295	126,708
自己株式	△71,335	△71,335
株主資本合計	1,038,788	1,066,201
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,071	△14,799
為替換算調整勘定	11,263	7,025
その他の包括利益累計額合計	5,191	△7,773
非支配株主持分	10,108	11,816
純資産合計	1,054,088	1,070,244
負債純資産合計	1,984,360	2,023,862

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	988,786	1,118,151
売上原価	398,290	459,755
売上総利益	590,496	658,396
販売費及び一般管理費	551,868	604,767
営業利益	38,627	53,629
営業外収益		
受取利息	171	346
受取配当金	322	593
投資有価証券売却益	8,361	1,049
受取手数料	4,749	4,080
助成金収入	11,318	32,869
その他	1,477	2,427
営業外収益合計	26,400	41,366
営業外費用		
支払利息	746	1,841
為替差損	360	870
支払手数料	1,540	835
持分法による投資損失	—	2,534
その他	104	321
営業外費用合計	2,751	6,404
経常利益	62,277	88,590
特別損失		
固定資産除却損	15	189
特別損失合計	15	189
税金等調整前四半期純利益	62,262	88,401
法人税、住民税及び事業税	10,476	16,262
法人税等調整額	5,271	11,860
法人税等合計	15,747	28,123
四半期純利益	46,514	60,277
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△87	606
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,601	59,671

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	46,514	60,277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,233	△8,728
為替換算調整勘定	870	△3,258
その他の包括利益合計	△362	△11,986
四半期包括利益	46,152	48,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,239	46,705
非支配株主に係る四半期包括利益	△87	1,585



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	62,262	88,401
減価償却費	6,947	13,176
のれん償却額	2,676	4,472
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	74	△324
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△76	—
受取利息及び受取配当金	△494	△939
助成金収入	—	△32,869
投資有価証券売却損益 (△は益)	△8,361	△1,049
支払利息	746	1,841
持分法による投資損益 (△は益)	—	2,534
固定資産除却損	15	189
売上債権の増減額 (△は増加)	△16,234	△22,511
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△171	15
仕入債務の増減額 (△は減少)	12,171	15,962
未払金の増減額 (△は減少)	△15,562	△28,170
その他	△12,879	△9,814
小計	31,114	30,915
利息及び配当金の受取額	496	957
助成金の受取額	—	32,869
利息の支払額	△821	△1,777
法人税等の支払額	△23,341	△12,693
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,448	50,271
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,409	△3,545
無形固定資産の取得による支出	△19,895	△20,199
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△57,499	△65,575
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	33,367	37,780
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△20,848
関係会社出資金の払込による支出	△5,448	—
関係会社株式の取得による支出	—	△5,000
貸付けによる支出	△4,177	△41,125
貸付金の回収による収入	202	20,554
その他	1,771	△3,290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,088	△101,248
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△2,364	△1,908
社債の償還による支出	—	△15,000
配当金の支払額	△53,250	△31,926
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,614	△48,834
現金及び現金同等物に係る換算差額	652	△3,331
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△101,601	△103,143
現金及び現金同等物の期首残高	935,312	1,027,083
現金及び現金同等物の四半期末残高	833,710	923,939

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	情報サービス事業	人材派遣事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	881,119	107,666	988,786	—	988,786	—	988,786
セグメント間の内部売上高又は振替高	804	—	804	—	804	△804	—
計	881,923	107,666	989,590	—	989,590	△804	988,786
セグメント利益又は損失(△)	160,640	4,514	165,154	—	165,154	△126,526	38,627

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△126,526千円には、セグメント間取引消去5,919千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△132,446千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	情報サービス事業	人材派遣事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	980,189	115,360	1,095,549	22,601	1,118,151	—	1,118,151
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,372	1,392	2,765	—	2,765	△2,765	—
計	981,562	116,753	1,098,315	22,601	1,120,917	△2,765	1,118,151
セグメント利益又は損失(△)	189,227	2,099	191,326	△8,527	182,799	△129,170	53,629

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△129,170千円には、セグメント間取引消去1,601千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△130,772千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、株式会社ピーエイケアの株式を取得したことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、30,899千円であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、前期まで「情報サービス事業」に区分しておりました連結子会社株式会社FIのセグメント区分を「人材派遣事業」に変更しております。

前期までは、店舗向け販促支援サービスを主な業務としていたため、「情報サービス事業」に区分しておりましたが、当期より「人材派遣事業」を主な業務としているため、「人材派遣事業」に区分しております。

また、当第2四半期連結会計期間より、株式会社ピーエイケアの株式取得による連結子会社化に伴い、保育関連事業として「その他」に区分して記載しております。